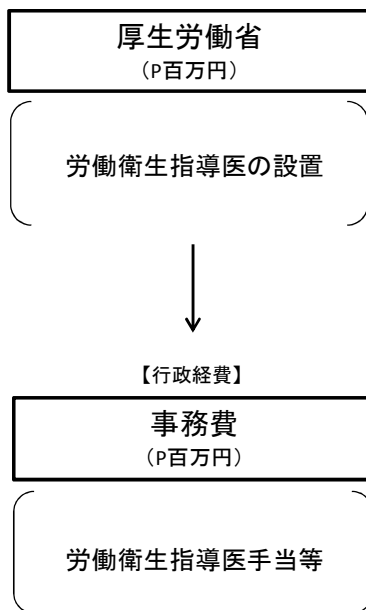


平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	労働衛生指導医設置経費			担当部局庁	労働基準局安全衛生部	作成責任者			
事業開始年度	昭和49年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	労働衛生課		泉 陽子		
会計区分	労働保険特別会計労災勘定			政策・施策名	Ⅲ-2-1 労働者の安全と健康が確保され、労働者が安心して働くことができる職場づくりを推進すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号 労働安全衛生法第95条			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策				主要経費	社会保障				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	労働者の職業病を未然に防止するため、都道府県労働局に労働衛生指導医を設置し、都道府県労働局長に対し意見を述べさせることを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	労働安全衛生法第95条に基づく、都道府県労働局長が事業者に対して行う同法第65条第5項に基づく作業環境測定実施の指示及び同法第66条第4項に基づく臨時的健康診断実施の指示の際に、労働衛生指導医から意見を述べさせる。平成26年4月1日現在、都道府県労働局に計58名設置している。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額(単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	5	3	4	3			
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		5	3	4	3	0		
	執行額		4	2	精査中				
執行率(%)		80%	67%	0%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標			単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	全47労働局に各1人以上、労働衛生指導医を設置する。	労働衛生指導医の設置数	成果実績	局	47	47	47		
			目標値	局	47	47	47	47	
			達成度	%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標				単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	労働衛生指導医の意見が必要となる事案が発生した場合には、機を逸しないよう速やかに意見を求める。	活動実績	局	-	-	-			
		当初見込み	局	-	-	-	-		
単位当たりコスト	算出根拠				単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	単位当たりコスト = X / Y			単位当たりコスト	円/人	59,741	30,103	64,241	57,268
	X:「予算額」 Y:「労働衛生指導医設置人数」			計算式	X / Y	3,465,000円/58人	1,746,000円/58人	3,726,000円/58人	3,207,000円/56人
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	非常勤職員手当	2							
	職員旅費	1							
	委員等旅費	0							
	庁費	0							
	計	3	0						

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	東電福島第一原発の作業員に対する健診命令を行なうなど、社会的に注目を浴びる事業において活動を行うことが多く、広く国民のニーズがあり、また、法律の規定に基づき実施するものであることから、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	都道府県労働局長の権限の発動に伴うものであるから、国で実施すべきである。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	東電福島第一原発の作業員に対する健診命令を行なうなど、社会的に注目を浴びる事業において活動を行うことが多いため、優先的に実施すべきものである。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	労働者の職業病予防を推進するものであり、事業者から徴収した労災保険料から経費を支出していることから、受益者との負担関係は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	労働衛生指導医一人あたりのコストとして妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	労働衛生指導医の活動に必要な経費に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	毎年度成果目標を達成しており、妥当である。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	都道府県労働局長が健康診断等の指示を行うにあたり、助言を求めるべき専門医を予め任命しておくことは、速やかかつ適切な実施において必要なことである。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みのとおり労働衛生指導医を設置した。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	労働衛生指導医の意見に基づき、健診指示等を行っている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	労働衛生指導医の活動が必要となる事案の発生に備え、その職務が確実に履行されるよう、適切な予算措置と任期の管理を行うことが必要である。 また、本事業は、毎年成果目標及び活動指標ともに達成しているところ、今後においても労働衛生指導医の意見が必要となる事案が発生した場合に速やかに意見を求める必要があるため、引き続き事業を実施する必要がある。			
	改善の方向性	労働衛生指導医の任期満了が近い局には、本省から任命手続きに必要な書類の督促を行う。また、労働衛生指導の対応が必要な場合に速やかに対応可能な体制を整えるよう都道府県労働局に指示する。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	1024
平成25年度	388	平成26年度	392		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

<b>費目・用途</b> (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.事務費			E.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	非常勤職員手当	専門家への手当	精査中			
	職員旅費	職員の出張に係る旅費				
	委員等旅費	専門家への旅費				
	庁費	役務・物品の購入等				
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	非常勤職員手当	専門家への手当	精査中	-	-
2	職員旅費	職員の出張に係る旅費		-	-
3	委員等旅費	専門家への旅費		-	-
4	庁費	役務・物品の購入等		-	-